

令和5年度マイスター・ハイスクール事業 成果発表会 講評シート

学校名(福島県立小高産業技術高等学校)

1. 取組についての評価

・15名もの産業実務家教員の協力を得て、ドローンやEVなど産業界での需要が広がりつつある技術を授業に取り入れて、生徒の創意工夫を刺激する授業や活動に取り組んでいることが評価できる。
・生徒に身につけさせる力として、Challenge(挑戦する力)、Create(創造する力)、Continue(継続する力)、Cooperate(協働する力)、Contribute(貢献できる力)の4C+1Cを目標に掲げて3年間の教育活動を行った結果、いずれの力も伸びたという評価結果が得られている。これは、視察した際に実際に生徒と触れ合っただけで感じたことと一致している。

2. 今後の課題と考えられること

・マイスターハイスクール事業の終了後に自走できる体制を構築することを期待している。